

- 2 - 4 - 7)。

(3) 労働力人口に占める高齢者の比率は上昇

平成27(2015)年の労働力人口は、6,598万人であった。

労働力人口のうち65歳以上の者は744万人(11.3%)となり、労働力人口総数に占める65歳以上の者の比率は、昭和55(1980)年の4.9%から大きく上昇した(図1-2-4-8)。

5 高齢者の社会参加活動

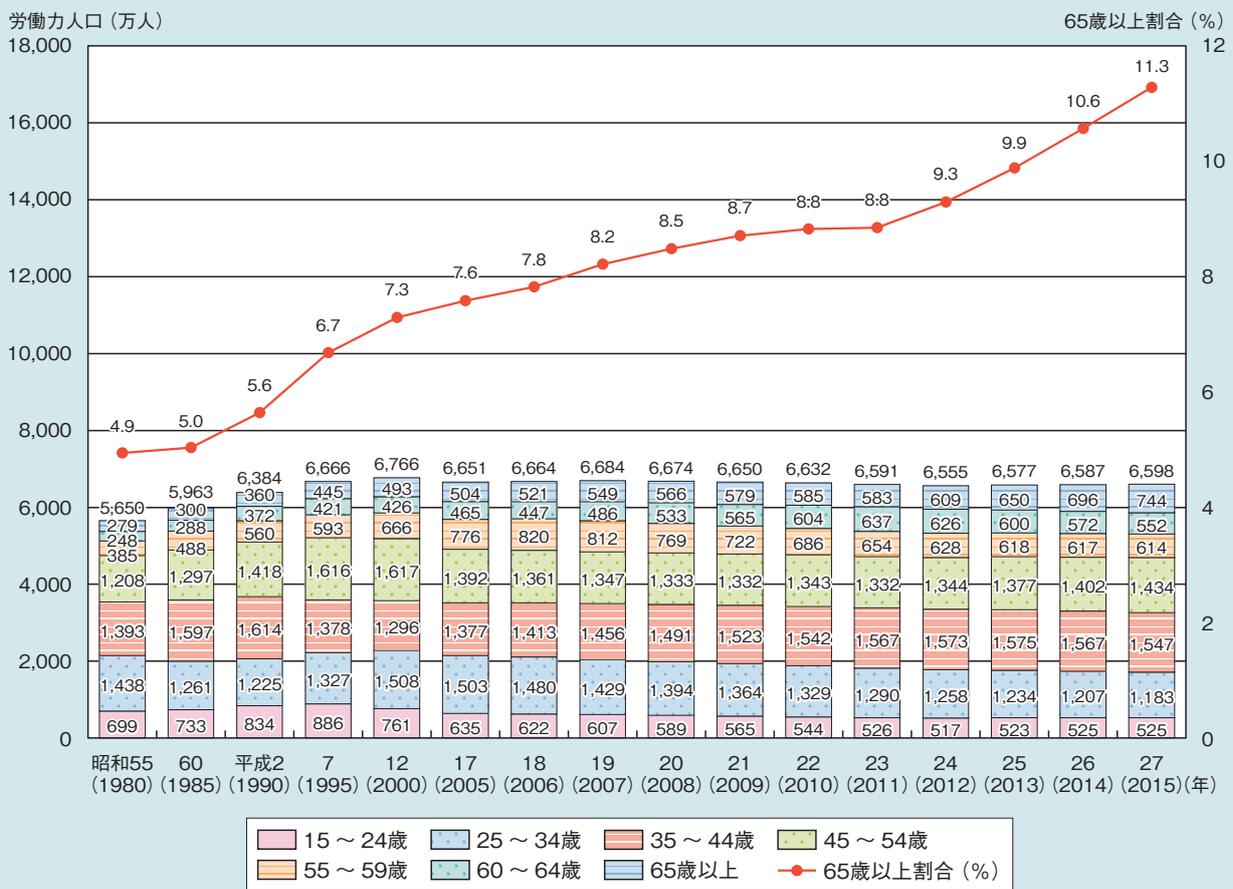
(1) 高齢者のグループ活動

ア 60歳以上の6割がグループ活動に参加したことがある

自主的なグループ活動への参加状況についてみると、60歳以上の高齢者のうち61.0%(平成25(2013)年)が何らかのグループ活動に参加したことがあり、10年前(15(2003)年)と比べると6.2ポイント、20年前(5(1993)年)に比べると18.7ポイント増加している。

具体的な活動についてみると、「健康・スポーツ」(33.7%)、「趣味」(21.4%)、「地域行事」(19.0%)の順となっており、特に「健康・

図1-2-4-8 労働力人口の推移



資料：総務省「労働力調査」(年齢階級別労働力人口及び労働力人口比率)より内閣府作成
 (注1)「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。
 (注2)平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。